

本時のねらい

・録画・録音を活用し、発表に向けた練習をする活動を通して、自分の発音を客観的に聞きとり、英語を話そうとする気持ちを育む。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・ICT (PowerPoint の録画機能) を活用し、発表練習をおこなうことによって、自分のパフォーマンスを客観的に評価・分析し、改善する力を育む。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・PowerPoint 　・カメラ機能 　・プロジェクター 　・ことまな デジタル教科書 NEW CROWN 1

本時で育む主な情報活用能力

B – STEP3 D – STEP3
Q – STEP3

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (8 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・small talk (曜日、日時、天候、自分の調子)をする。 【めあて】「友だちや先生の好きなものを取材し、紹介してみよう」「自分の発音を知り、改善点を探してみよう」 ・学習計画表に本時の自分の目標を書く。 【写真 1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンで全体に共有する。 ・本時の学習計画をたて、自分の目標を書くことで、見通しをもって学習に取り組む。
展開 (35 分)	<p>【練習】・What ● ● does s/he like? ・S/He likes ● .</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用い、定型の言い回し表現を確認する。 ・終わった人から、解答を PowerPoint に入力する。 <p>【発表する文章を作成する】 <選択肢>・ロイロノート ・PowerPoint ・紙に書く</p> <p>【発表練習をする】 <選択肢>・教員が撮影 ・同級生が撮影 ・自撮りする <ul style="list-style-type: none"> ・PowerPoint の録画機能を活用する。 ・同級生と相談しながら、自分の進歩状況を共有する。 【写真 2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の様子を動画で撮影する旨を伝え、前向きに取り組む姿勢を意識させる。 ・発表時の注意点(ポイント)を確認する。 ・対面で、相手の顔を見て発表する様子を撮影する。 ・はっきりと大きな声で相手に伝えるようにする。 ・練習の動画は、必要に応じて交代してお互いに撮影する。 ・各自で音読練習をする。 ・発表の様子を動画撮影する。
まとめ (7 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 ・次回、撮影した動画を見ながら、相手の良かった点と自分の発表を評価する旨を予告する。 ・学習計画表に学習の振り返りを記入する。 【写真 3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の良かった点を共有する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】学習計画表で本時の自分の目標を立てている様子



【写真 2】PowerPoint の発表録画機能を活用し、繰り返し練習している様子



【写真 3】生徒の学習計画表

児童生徒の反応や変容

・普段の授業では、発表やプレゼンテーションの準備として、同級生や授業者からアドバイスをもらい、自分の発表を改善し高める活動をおこなっている。ICT(PowerPoint・ロイロノートの録画・録音機能)を活用することで、自分の課題を自ら発見する力を発揮していた。また、他者に発表する前に、客観的に習熟度を確認することで、自信をもって発表することにつながっていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・練習の映像が残ることによって、授業者は細やかな助言をおこなうことができた。さらに発表本番だけでなく、練習の過程も「主体的に学びに取り組む態度」の観点から生徒の頑張りを見取ることができた。